

上意東 研修センターだより

令和三年四月一日

171号

上意東公民館
TEL 52-2870
FAX 52-2902
MAIL:hkamiitou.cc@mabl
e.ne.jp

発行責任者
館長 森廣光彦

上意東公民館閉館のご挨拶

上意東公民館は、長年上意東地域の皆様に支えられてともに歩んでまいりましたが、3月31日をもって、閉館することとなりました。皆様の長年にわたる並々ならぬご厚誼に心から感謝申し上げます。

4月より上意東研修センターは(有)京羅木農産が指定管理を受けて運営いたします。引き続き上意東地域の組織の拠

点として地域づくりを通じ上意東の発展的展開、地域の活性化のため従来と変わらなく積極的な活用を行ってまいります。なお、上意東公民館の閉館に伴い、森廣光彦、三上充代は退館します。この場を借りまして重ねて感謝するとともに、お礼のご挨拶を申し上げます。

上意東公民館

館長 森廣光彦

主事 三上充代

上 長年親しんだ公民館の看板



合併後のまちづくり

H23年松江市と合併しこれまで自治会は、区長を中心として、行政のお手伝い役で、行政主導でした。合併後は、住民主体の自治会運営となり、上意東地域自治会として新たな組織を作り体制も徐々に強くしました。「上意東地域全体の均衡ある発展」をスローガンとし皆様の協力を得ながら、公民館、NPO法人がみいとうと連携し、まちづくりを推進してまいりました。

10年間のまちづくりの成果

一つは、「おちらと村と上意東研修センターを中心

上意東地域自治会10年の歩み

とした「小さな拠点づくり」であり、上意東公民館が廃止後も松江市の拠点として存続し研修センターとして引き続き利用できるようなりました。これも皆様のまちづくりの情熱や思いが市に評価され認められたからであり、市としても特例中の特例で

ハイキングコースの整備を行うことができました。三つ目は、「市内外との広域連携」です。松江市の南部周辺地の5地区(八雲、玉湯、忌部、宍道、上意東)地域間連携円卓会議を市長の助言もあり設立し、上意東で2回開催しました。おかげでお互いを知り地

区課題について情報共有し、連携してまちづくりを進めることができつつあります。二つ目は、上意東には豊富な地域資源があります。「地域資源の発掘による地域の再認識」です。皆様にご協力により松江市からの数百万円もの多額な助成金を活用し、星上峠展望台の整備や、京羅木山・星上山

今後さらなる発展のために、今コロナ禍であり、自治会活動もいろいろ制約されていますが、知恵を出し合い新しいスタイルで進めて行く必要があると思っております。今後とも自治会活動にご協力よろしく願いいたします。上意東地域自治会 会長 森口和宣

地域自治会からの報告

1 令和3年度上意東地域自治会役員改選について

任期は2年で合併後10年間現体制で運営。来年度から新体制に移行。自治会長は、令和2、3年度の単位自治会長の推薦により森廣光彦氏を選出。お世話になります。

2 令和3年3月31日 上意東公民館廃止に伴う対応について

4月1日より上意東研修センターを(有)京羅木農産を指定管理者として存続。新たに「上意東地域づくり協議会」を設立して地区運営の組織とする。会長は現自治会役員の推薦により森廣光彦氏を選出、重ねてお世話になります。その事業内容は以下の通りです。

- 1. 研修センター便り発行 「おちらと村通信」と合同発行
- 2. 視察研修
- 3. 農業祭、ほたる祭り、納涼夏祭りの開催
- 4. 地区内環境整備
- 5. 東出雲公民館事業への協力

事業費について

収入は松江市地域振興事業補助金、(50万円を想定。)各戸約750円の課金(別に東出雲公民館協力金250円/戸)その他イベントの際の事業収入等

支出は、事業費、体協助成金、役員報酬、傷害保険、事務費など。

3. 星上峠展望台整備

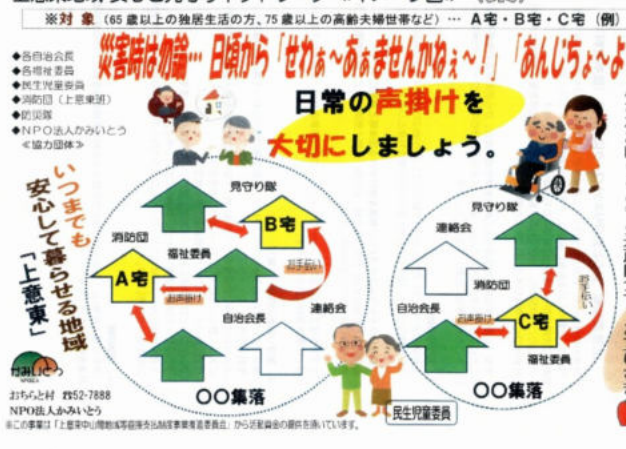
令和2.3年度に松江市の地域版まちづくり総合戦略事業費補助金や、東出雲地域いきいきまちづくり事業補助金を利用して、竹林の整備、ベンチの製作、登山道階段整備、転落防止柵の設置など予定。平成25年3月整備基本構想を策定して依頼進めてきた整備についてひと区切りとなります。

NPOがみいとうからも活動報告

会員状況の報告では現在111戸、156名の会員で運営指定管理を行う「おちらと村」は、コロナの影響で、大きなイベントは、開催できなかつたものの、各種教室、小規模な事業を開催。新たな事業として、上意東中山間地域直接支払い制度事業推進委員会より財源の支援を得「上意東地域安心見守りネットワーク」の組織化が図られます。上意東地区では独居世帯が17軒あり、より一層の支援となります。より期待します。

また事業年度の変更があり、ほかの組織とのかわりもあり現在毎年年度初め7月を4月に変更すること、合わせて役員の変更も同時に行うとのことです。

上意東地域 安心と見守りネットワーク「イメージ図」(案) 令和3年2月



久しぶり開催、男性サロン会

ツバキ愛好家中組の福頼真澄さんを講師に椿のお話を聞く
 2月25日おちらと村で男性サロン会が開かれ、中組の福頼真澄さんが資料をもとにお話をされました。会場には、早咲きのツバキの鉢も展示され実際の花を見ながら、話に聞き入りました。松平不味公ゆかりの品種や、京都御所の白ヤブ椿の「白寿」など命名には興味深い意味があるようです。参加された高齢者の皆さんの長寿を祝い、紹介されました。

地元には伝わるツバキの話や近年、優秀古木に認定された金正寺「5色八重散椿」も紹介されました。福頼さんのツバキに寄せる思いがお話の最後にありましたので紹介し、当日の和んだひと時の雰囲気をお伝えします。

＊注 乗光寺末寺の金正寺（江戸時代より前に廃寺）は、現在は葉師堂として法灯を守り、上意東の札打ち所として中組にあります。高台にあり乗光寺が見渡せます。



福頼さんの椿についての熱い思い

上意東の地には椿をめぐる文化が数百年前から根付いていました。樹齢400年を超える「金正寺5色八重散椿」を筆頭に、信仰とともに京から下り、根付いた椿がふるさと上意東の地を潤し、人々の暮らしを見守ってきた姿に畏敬の念を覚えます。

皆さんの周りにも植栽された椿や、まだ知られていないヤブ椿、知っていても自分だけが知っている椿のありかなどをを大事にしてください。

連載 第40回 上意東に生きる動物たちも私たちの仲間だ スズメのお宿はどこだ

最近めっきりスズメが少ないと感じます。日本では、9割減ったと言う報告もあります。その原因として、住宅事情があるようです。以前は瓦等巣に利用できる隙間があったことや、野原に昆虫がたくさんいたことなど住みやすい環境があったようです。最近はその環境がなくなり、環境の良くない野外で巣をしているようです。

先日甲（森口重人さん宅）の紅梅に4、50羽ほどの雀がたかっています。花を食べているのか蜜を吸っているのかわかりませんがその多さに安心しました。

冬場は、群れで過ごしますが、繁殖期になるとつがいになり、子育てをします。ちようどツバメの子育てと重なりますので、餌を運ぶ姿が確認されれば巣のありかを探してください。

古来より身近な雀は大切にされておられ、かかしで追い払う優しさや日本人の優しい感性だと思えます。身近な自然に注意を向けることの大切さを教えてくれる鳥です。

阿弥陀堂つるし飾りを新調、奉納

3月12日、畑地区阿弥陀堂に阿弥陀堂つるし飾りが対で川越戀さんの制作で奉納されました。

阿弥陀堂は、ご本尊に阿弥陀如来坐像、ほかに弘法大師、薬師如来像など木造の仏像が保存状態もよく安置されています。

63年に道路の反対側から新築移転。建物の右側には2体のお地藏さまが安置されており、上意東地区の札打ち所にもなっています。いつ訪れても供花が絶えることなくきれいに管理されており、感心します。



す。すばらしいつるし人形です。畑の柿もあるようです。ぜひ参拝して柿を探してください。ご本尊様もお地藏さまも真新しい帽子を召されてお暖かそうでした。

つるし飾りは、上意東では大日堂と蓮華大堂（延命地蔵堂）に奉納されています。歴史や縁起については、次号にてお知らせします。



稲穂とスズメ 蒔絵の漆塗り木皿
 直径15センチ豊作を願った図柄。
 煮物や赤飯などと相性がいいようです。奥組M家所蔵 大正時代の作



星上峠展望台 竹林伐採など整備

3月14日前日までの雨が上がつて春霞がかかる星上峠展望台で、会員15名による登山口の竹林伐採を行いました。目的は、登山道の安全とベンチを設けた、憩いの場の整備を行いました。上空には今年もミサゴが舞っていました。年々訪れる人も増えその眺望に歓喜の声をあげます。手すりなど安全施設の整備が望まれます。

星上峠展望台整備検討委員会
 会長 三島一成

上意東地区防災訓練実施

2月14日2年ぶりに防災訓練を行いました。実際の避難は行いませんでしたが、情報伝達と安否確認の訓練を行いました。当日在宅者のほぼ全員の安否確認ができ午前9時半過ぎに終了しました。合わせてサイレンを鳴動、告知端末による放送の訓練をしました。

上意東防災隊 隊長 森口和宣



大日堂の桜3.18日にあまりにも早い開花 撮影3.22

上意東の行事予定表	
4月	
1日	上意東戦没者慰霊祭
4日	上意東園場 いであげ
10日	金刀比羅宮春祭り
19日	市穂神社春祭り
*金正寺五色八重散椿4月満開になります。	